

イタリアにおける外国人観光事情

—ローマ観光を中心として—

Stranieri e Vacanze Romane

山田 徹 雄

Tetsuo YAMADA

要 旨

イタリアを訪れる外国人観光客は、年間4千万人以上に達する。彼らの多くは北イタリアの歴史的芸術的都市を訪問している。外国人観光客の圧倒的多数を占めるドイツ人がローマを訪れることは稀である一方、首都ローマを訪れる外国人の中では、アメリカ人が群れを抜いている。一般にアルプス以北を起点とする観光客にとってローマの吸引力は小さいが、遠隔の国を起点とする旅行者にとってローマの魅力は大きい。

はじめに

「ヨーロッパ観光委員会」ETC (European Tourism Commission) が東京、大阪で行った日本人観光客のアウトバウンドに関するアンケート調査によると、もっとも頻繁に訪れるヨーロッパの都市がローマであり、かつ将来最も訪れたい都市がローマであった⁽¹⁾。

しかしながら、世界経済フォーラム (World Economic Forum) による『旅行・観光競争力レポート』(World Economic Forum, *The Travel & Tourism Competitiveness Report 2009*, Geneva, 2009) において、イタリアの観光競争力の総合評価は世界で28位であった。個々の項目においては、世界文化遺産の数 (1位)、レンタカー会社の存在 (1位)、ホテルの客室 (8位) 空港数 (5位) など上位にランクされたものもある⁽²⁾。

本稿では、「永遠の都」(la città eterna)、ローマ市における外国人観光客の特性、観光行動について、イタリア人観光客のそれと比較を試みる⁽³⁾。

イタリアの外国人観光客に関するデータは、イタリア政府観光局 (ENIT) によって公表され

ている「イタリアにおける国際観光」(Il turismo internazionale in Italia) によった⁽⁴⁾。ローマ市およびローマ県の観光客に関しては「ラツィオ州の観光のための相互会社」(Ente bilaterale per il turismo della regione Lazio) (略称EBTL)⁽⁵⁾が刊行する『ローマのヴァカンス 2009年』(Vacanze Romane 2009) および、『観光客ホテル年次報告 2009年』(Rapporto annuale turisti albergi 2009) を利用した。

1. イタリアにおける外国人観光

外国人観光客が多数を占めている国について、「世界観光機関」UNWTO (World Tourism Organization) によって公表されている統計を [表1] に示した⁽⁶⁾。

同表において中国についての統計は、「外国人観光客」ではなく、「外国人訪問者」である。別の統計資料を根拠として、外国人観光客はスペインより少なく、イタリアより多いことが確認されている。このことから、外国人観光客が最も多いのはフランスであり、以下アメリカ、スペイン、中国と並び、イタリアが5位に顔を出す。

表1 外国人観光客到着数 (2008年度)

順位	目的国	外国人観光客到着数
1	フランス	79,220,000 人
2	アメリカ	57,937,451
3	スペイン	57,192,027
4	中国	(130,027,393)*
5	イタリア	42,733,683
6	イギリス	31,888,118
7	トルコ	24,994,007
8	メキシコ	22,637,405
9	ドイツ	22,131,203
10	マレーシア	22,052,488

* [表1] は外国人観光客 (Arrivals of non-resident tourists at national borders) に関するデータであるが、中国に関する統計は「外国人訪問者」(Arrival of non-resident visitors at national borders) の数値となっている。中国における外国人観光客は Dati UNWTO, giugno2010 によると 50.9 百万人である。同統計では、スペインの 52.2 百万人とイタリアの 43.2 百万人の中間に位置する。(ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011)

(典拠) World Tourism Organization, *Yearbook of Tourism Statistics, Data 2004-2008*, 2010 Edition, Madrid をもとに作成。

[表2] は、イタリアを訪れる外国人の宿泊者数 (arrive) と宿泊件数 (presenze) および一人当たりの平均宿泊数 (permanenza media) の推移を表している。これによると、イタリアに滞在す

イタリアにおける外国人観光事情

る外国人旅行者は、2006年度以降4千万人の大台を超え、2007年には4千287万人を記録し、それ以降も高い水準を維持している。一方、一人当たりの平均宿泊数は、2001年に記録した4.1泊を極大として、以後宿泊期間は短縮した。〔表2〕参照

表2 外国人観光客と宿泊数の推移

年度	宿泊者数	宿泊件数	一人あたり 平均宿泊件数
1998年	30,799,940人	120,875,293件	3.9泊
1999	31,718,538	126,314,241	4.0
2000	35,194,735	140,362,488	4.0
2001	35,805,335	146,789,945	4.1
2002	36,355,046	145,559,930	4.0
2003	35,006,124	139,653,425	4.0
2004	36,715,739	141,169,236	3.8
2005	38,126,691	148,501,052	3.9
2006	41,193,827	156,861,341	3.8
2007	42,873,122	163,465,680	3.8
2008	41,796,724	161,797,434	3.9
2009	41,124,722	159,493,866	3.9

(典拠) ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011

イタリアを訪れる外国人旅行者の宿泊地を州別に見ると、ヴェネト州、ラツィオ州、ロンバルディア州、トスカーナ州、トレンティーノ＝アルト・アディゲ州、エミリア＝ロマーニャ州が上位に並び、すべて首都ローマを含むヴェネト州以北に集中している。特に、上位4州には、ヴェネツィア、ローマ、ミラノ、フィレンツェなどの文化芸術遺産を有する大都市が存在し、これら北イタリアの都市が外国人旅行者を吸引している。〔表3〕参照

表3 イタリアにおける州別外国人観光客

州 (Regione)	宿泊者数	宿泊件数	一人あたり 平均宿泊件数
ヴェネト (Veneto)	8,381,464人	35,904,121件	4.3泊
ラツィオ (Lazio)	6,630,858	20,366,603	3.1
ロンバルディア (Lombardia)	5,250,133	15,443,697	2.9
トスカーナ (Toscana)	5,237,588	19,031,859	3.6
トレンティーノ＝アルト・アディゲ (Trentino-Alto Adige)	4,533,111	23,256,196	5.1
エミリア＝ロマーニャ (Emilia-Romagna)	1,973,585	8,702,363	4.4

シチリア (Sicilia)	1,529,114	5,378,455	3.5
カンパニア (Campania)	1,518,520	6,976,320	4.6
リグーリア (Liguria)	1,240,032	4,089,970	3.3
ピエモンテ (Piemonte)	1,133,218	3,815,154	3.4
サルデーニャ (Sardegna)	883,130	4,066,558	4.6
フリウリ＝ヴェネツァ・ジュリア (Friuli-Venezia Giulia)	850,200	3,845,666	4.5
ウンブリア (Umbria)	521,081	1,881,528	3.6
プッリャ (Puglia)	418,703	1,646,751	3.9
マルケ (Marche)	314,430	1,595,043	5.1
ヴァッレ・ダオスタ (Valle d'Aosta)	280,701	984,505	3.5
カラブリア Calabria	220,191	1,472,171	6.7
アブルッツォ (Abruzzo)	148,648	831,818	5.6
バジリカータ (Basilicata)	47,384	158,262	3.3
モーリゼ (Molise)	12,631	46,826	3.7

(典拠) ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011

外国人観光客の宿泊先を観光の関心を基準とする地域特性 (Località di Interesse turistico) によって分類した [表4] によると、歴史芸術都市 (Città di interesse storico e artistic) 滞在者が年間1千8百58万人を超え、これは外国人宿泊者全体の45%に相当する。都市の宿泊が平均して2.9泊である一方、海岸地域 (Località marine)、湖水地域 (Località lacuali)、山岳地域 (Località montane)、丘陵地域 (Località collinarie di interesse vario) においては、一人平均5泊程度滞在しており、都市における通過型観光と自然の景勝地における滞在型観光の対照が見られた。([表4] 参照)

表4 外国人観光客の滞在地域類型 (2009年度)

観光の関心による地域	宿泊者数	宿泊件数	一人あたり平均宿泊件数
歴史芸術都市 (Città di interesse storico e artistic)	18,580,069 人	53,317,908 件	2.9 泊
海岸地域 (Località marine)	6,945,134	37,952,652	5.5
湖水地域 (Località lacuali)	3,759,285	19,292,301	5.1
山岳地域 (Località montane)	3,711,672	18,769,674	5.1
丘陵地域 (Località collinarie di interesse vario)	1,671,864	7,820,443	4.7
温泉地域 (Località termali)	1,283,506	4,914,030	3.8
その他の地域 (Altre località)	5,173,192	17,426,858	3.4

(典拠) ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011

イタリアにおける外国人観光事情

旅行者の起点とする国 (Paese di origine) を [表 5] で確認しよう。ここではドイツ人観光客の占有率は 22.1% に上り、アメリカ人のそれ (9.6%)、イギリス人のそれ (8.1%) を大きく引き離す。イタリア全体として、外国人観光はドイツ人による長期滞在によって成り立っているといえる⁽⁷⁾。一人当たり平均宿泊数が多いのは、オランダ、ドイツ、ベルギーなどアルプス以北の国を起点とする旅行者であり、中国、日本、アメリカなど遠隔地からの観光客の宿泊数は少ない。

表 5 イタリアにおける起点国別観光客数

観光客の起点国	宿泊者数	宿泊件数	一人あたり平均宿泊件数
ドイツ	9,085,679 人	47,278,488 件	5.2 泊
アメリカ合衆国	3,928,677	10,080,117	2.6
フランス	3,332,807	10,447,586	3.1
イギリス	2,684,392	10,469,045	3.9
オーストリア	1,948,791	8,078,701	4.1
オランダ	1,836,907	10,875,329	5.9
スペイン	1,760,924	4,833,065	2.9
スイス	1,717,083	7,309,392	4.3
日本	1,298,068	2,534,836	2.0
ベルギー	994,999	4,434,026	4.5
ロシア	894,659	3,294,957	3.7
ポーランド	811,024	3,400,700	4.2
中国	727,570	1,254,039	1.7
オーストラリア	613,799	1,572,543	2.6
カナダ	588,776	1,612,960	2.7

(典拠) ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011

2. ローマ観光

2.1 ローマ観光客の類型

[表 6] は、ローマ観光客を国籍 (Nazionalità) によって、イタリア人と外国人に分類した。これによると、ローマの観光客を最も特徴づけているのは、外国人の多さであろう。ローマ旅行者のおよそ 78% が外国人によって占められている。外国人観光客の構成比率では、パリをはるかに上回っている。性別においては、イタリア人では男性が、外国人では女性の比率がやや高い。

([表 6] 参照)⁽⁸⁾

表6 ローマ市観光客の国籍構成

国籍別にみた性別比率 (%)			国籍別比率 (%)
国籍	男性	女性	
イタリア人	52.83	47.17	22.10
外国人	46.04	53.96	77.90
合計	48.70	51.30	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.2

次に、ローマ観光客の年齢構成を [表7] によって考察する。これによると、ローマを旅する者の年齢は18～50歳が78%を占めている。イタリア人では26～35歳が最も多数を占めている。外国人の場合も同様であるが、26～35歳と36～50歳ではほとんど差がなく、51～65歳も17%以上にのぼっている。イタリア人旅行者より外国人旅行者の方が幾分、高年齢であることが確認できる。([表7] 参照)

表7 ローマ市観光客の年齢構成 (%)

年齢構成	イタリア人	外国人	合計
18歳未満	4.80	3.43	3.74
18～25歳	28.40	19.50	21.53
26～35歳	29.20	28.96	29.01
36～50歳	26.80	28.37	28.01
51～65歳	9.60	17.38	15.60
66歳以上	1.20	2.36	2.11
合計	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL, *Vacanze Romane 2009*, p.3

ローマを訪れる観光客の職業を [表8] でみる。イタリア人、外国人に共通して多数を占める職業は、実業家、管理職、事務職、学生であり、これらを合計すると半数を超える。一方、極端に少ないのが労働者に分類されている者の比率である。ローマが歴史文化的魅力を有することと無関係ではあるまい。また、外国人においては教員の比率がおよそ12%の高い比率となっている。総じて、ローマはインテリ好みの都市であるといえよう。

表8 ローマ市観光客の職業構成 (%)

職業	イタリア人	外国人	合計
実業家 (Imprenditore)	12.88	10.22	10.80
管理職 (Manager)	14.39	11.49	12.22
自由業 (Libero professionista)	13.26	7.27	8.37
商人 (Commerciante)	4.17	3.69	3.79

イタリアにおける外国人観光事情

教員 (Docente)	2.27	11.91	9.81
役員 (Funzionario)	6.44	5.27	5.52
事務職 (Impiegato)	15.53	15.17	15.25
労働者 (Operaio)	7.20	2.95	3.87
学生 (Studente)	17.05	14.96	15.42
年金生活者 (Pensionato)	1.52	2.95	2.64
主婦 (Casalinga)	4.92	2.74	3.22
その他 (Altro)	0.37	11.38	8.99
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL, *Vacanze Romane 2009*, p.4

この職業における特性は [表9] のローマ滞在動機 (Motivazione principale del soggiorno a Roma) と密接な関係がある。イタリア人の動機では、文化的関心・文化的イベントが最も多数を占め、休暇がこれに次ぐ。一方、外国人の旅行動機は休暇が首位であるが、文化的関心・文化的イベントがこれに次いでいる。

表9 ローマ滞在の主たる動機 (%)

旅行動機 (Motivazione del viaggio)	イタリア人	外国人	合計
ビジネス (Affari)	6.90	9.96	9.25
休暇 (Vacanza)	27.87	49.52	44.45
信仰 (Religione)	1.19	2.40	2.12
会議 (Congresso)	3.10	0.95	1.45
家族の都合 (Motivi familiari)	1.19	0.73	0.84
健康 (Salute)	0.95	0.07	0.28
文化的関心・文化的イベント (Interessi e manif. Culturali)	33.10	20.07	23.11
スポーツイベント (Manifestazionni sportive)	0.71	0.15	0.28
友人、親戚訪問 (Visita amici/parenti)	10.95	5.24	6.57
芸術的魅力 (Attrattive artistiche)	7.14	7.20	7.19
その他 (Altro)	6.90	3.71	4.46
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.5

2.2 ローマ観光客の旅行形態

この項では、ローマ旅行の仕方の類型 (tipologia di viaggio a Roma)、旅行形態 (modalità)、旅行の組織形態 (modalità organizzativa del viaggio)、宿泊施設 (tipologia di sistemazione recettiva)、情報収集手段 (fondi d'informazione su Roma) の視点から考察する。

旅行形態においては、イタリア人と外国人では大きな相違がみられる。イタリア人の場合、友人との旅行が最も多く44%に達し、次いで一人の旅行となっている。これに対して外国人では、家族旅行がおよそ46%を占め、もっとも多く、次いで友人との旅行である。またツアーによる団体旅行も比較的多数を占めている。

表10 ローマ旅行の形態 (%)

旅行形態	イタリア人	外国人	合計
ツアー団体 (Con un gruppo organizzato)	11.11	16.00	14.90
一人 (Da solo)	26.68	19.55	21.15
家族 (Con la Sua famiglia)	18.15	45.87	39.64
友人 (Con amici)	44.06	18.58	24.31
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.6

ローマ旅行の企画・予約状況を [表11] でみる。イタリア人の場合、事前予約なしで旅行するものが最も多く、次いで個人で事前予約となっている。また last minute の利用者も24%を占めている⁽⁹⁾。

外国人にあっては、旅行代理店を通じた予約が最も多く、次いで事前に個人で予約となり、予約なしの旅行者は7.5%強しかいない。

表11 旅行の予約形態 (%)

旅行の企画・予約	イタリア人	外国人	合計
事前に個人で予約 (Prenotando da solo con anticipo)	28.63	28.39	28.43
last minute によって個人で予約 (Prenotando da solo con last minute)	24.05	23.19	23.38
旅行代理店を通じて予約 (Prenotando con adv)	7.63	30.98	25.83
旅行代理店を通じた last minute 予約 (Prenotando con adv last minute)	3.82	9.86	8.52
予約なし (Senza prenotazione)	35.87	7.58	13.84
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(注) adv は agenzai de visaggi (旅行代理店) を表す。

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.7

ローマ観光客が利用する宿泊施設を [表12] でみる。外国人宿泊者は67.5%がホテルを利用しているのに対して、イタリア人ではホテル利用者は39%にすぎず、友人・両親宅、B&Bなどの宿泊者が比較的多く存在する。

イタリアにおける外国人観光事情

表 12 旅行者の利用する宿泊施設 (%)

宿泊施設の種類	イタリア人	外国人	合計
ホテル	39.00	67.50	61.24
キャンプ	1.16	1.74	1.61
B&B	19.69	16.19	16.96
友人・両親宅	28.57	7.07	11.79
その他の受入施設	11.58	7.50	8.40
合計	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.8

ローマ観光情報の入手方法においては、イタリア人、外国人を問わずインターネット利用が50%以上を占めている。外国人においては、総合旅行業者⁽¹⁰⁾、旅行代理店経由の情報入手を合計すれば、17%に達している。一方、イタリア人の場合、友人・親からの情報が25%以上に達し、この点、両者の大きな相違を形成する。

表 13 ローマに関する情報の入手方法 (%)

媒体	イタリア人	外国人	合計
雑誌・新聞 (Riviste-Giornali)	5.61	5.05	5.16
テレビ・ラジオ (Tv-radio)	3.51	2.61	2.78
総合旅行業者のカタログ (cataloghi TO)	0.70	11.00	9.06
友人・両親 (Amici-parenti)	25.62	16.95	18.58
旅行見本市 (fiere turistiche)	0.70	1.96	1.72
インターネット (Internet)	56.50	51.35	52.32
旅行代理店 (adv)	1.75	6.03	5.22
その他 (Altro)	5.61	5.05	5.16
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(注) Cataloghi TO: dei cataloghi dei tour operator

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.9

2.3 ローマ観光における移動と期間

2.3.1 ローマ観光と時間

ここではローマ観光客を時間軸と空間軸で捉えよう。

外国人がイタリアの歴史・芸術都市を訪問した場合の平均宿泊期間が2.9泊であったことはすでに確認した。ローマについてイタリア人も含めた平均滞在期間 (Durata media del soggiorno a Roma) は [表 14] のようになっている。2～3日の滞在が最も多く(約58%)、次いで4～5日(約20%)、1日(約16%)であり、6日以上は極めて少ない。滞在期間の短さという点で、都市型観

光の特徴を示しているといつてよかろう。

表 14 ローマにおける平均滞在期間

1日	15.91%
2～3日	57.70
4～5日	20.44
6～7日	3.60
8日以上	2.35
合計	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.9

外国人、イタリア人のローマ観光の違いを鮮明に示しているのが訪問回数 (frequenza del viaggio a Roma) である。外国人ではローマ訪問回数が1回 (49%)、2回 (33%) が大多数であるが、イタリア人では5回以上がおおよそ56%を占めている。

表 15 ローマへの旅行回数 (%)

ローマ訪問頻度	イタリア人	外国人	合計
1回	10.63	49.32	40.08
2回	12.99	33.37	28.49
3回	14.17	7.30	8.94
4回	10.63	4.20	5.74
5回以上	51.58	5.81	16.75
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.10

ローマ市とローマ県におけるホテルの稼働状態 (esercizi alberghieri di Roma e Provincia di Roma) について、年間の変動をみる。

ローマ市において客室、ベッドの稼働率が最高となるのは10月である。傾向として、8月を除いて、5月から10月がとくに稼働率が高水準となる。

表 16-1 ローマ市における月別ホテルの稼働率 (2009年度) %

	客室基準	ベッド基準
1月	42.95	37.41
2月	54.18	47.56
3月	60.18	55.77
4月	65.22	61.44
5月	71.89	66.00
6月	65.47	60.11

イタリアにおける外国人観光事情

7月	68.08	60.63
8月	59.75	56.21
9月	76.84	74.24
10月	77.13	74.95
11月	64.28	54.31
12月	52.58	45.36
年間	63.23	57.83

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.22

同様の傾向はローマ県にもあてはまる。12月～2月において、ホテルの稼働率が低下している。

表 16-2 ローマ県における月別ホテルの稼働率 (2009年度) %

	客室基準	ベッド基準
1月	40.95	35.56
2月	48.92	43.62
3月	56.97	52.26
4月	63.17	60.28
5月	67.86	63.57
6月	61.48	57.81
7月	64.35	59.59
8月	57.06	72.86
9月	72.86	70.82
10月	71.87	69.87
11月	59.90	51.75
12月	48.96	45.17
年間	59.23	55.51

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.22

ここにヴァカンス・シーズン (le vacanze estive) である8月に大きな落ち込みが見られるのはなぜであろうか? ローマと同様の歴史的・芸術都市であるウィーンにおいては、観光客のピークは7月、8月、9月であった¹¹⁾。

試みにウィーンとローマの月別日中平均最高気温を比較しよう。[表 17] によって8月の平均気温をみると、ローマでは28.7℃、ウィーンでは25.4℃である。ウィーンの8月はローマでは6月、9月に相当する。また、8月に次いで気温の高い7月のホテル稼働率は快適な気温である5月、9月、10月に及ばない。

気温だけによって、8月の落ち込みを説明することは難しいが、大きな要因であることは間違いないであろう。

表 17 月別日中平均最高気温の推移 (C)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ローマ	22.0	25.6	28.6	28.7	26.0	22.0
ウィーン	20.5	23.4	25.6	25.4	20.3	14.2

(典拠) World Weather Information Service, Weather Information for Vienna, in interrete sub: <http://worldweather.wmo.int/006/c00017.htm>, 30.06.2011 et World Weather Information Service, Weather Information for Rome, in interrete sub: <http://worldweather.wmo.int/176/c00201.htm>, 30.06.2011

2.3.2 ローマ観光における空間

次に、観光客の空間的移動について考察する。イタリア人のローマに至る行程は、鉄道が最も多く、それ以外では航空、自家用車の利用者が多い。これに対して、外国人の利用する交通手段では航空機が8割以上を占めている。

表 18-1 ローマに至る交通手段 (%)

交通手段	イタリア人	外国人	合計
鉄道 (Treno)	41.75	13.52	19.70
航空 (Aereo)	28.74	81.01	69.57
自家用車など (Mezzo proprio)	20.31	2.04	6.04
バス (Autobus)	9.20	3.43	4.69
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.8

市内の主たる移動手段 (Modalità prevalente di spostamento in città) においてはイタリア人では公共交通手段利用が66%を占めているが、外国人ではおよそ46%となっている。後者では徒歩によるものが38%以上に達している。

表 18-2 ローマ市内の移動手段

交通手段	イタリア人	外国人	合計
公共交通手段 (Mezzi pubblici)	66.03	45.68	50.20
タクシー (Taxi)	6.43	11.10	10.06
自家用車 (Auto privata)	3.40	1.51	1.93
徒歩 (A piedi)	23.02	38.68	35.21
観光バス (Bus gruppo)	1.13	3.03	2.60

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.10

自由時間の過ごし方 (Modalità prevalente d'impiego del tempo libero) を比較すると、博物館・美術館訪問、文化遺産・教会訪問のいずれにおいても、外国人の方が積極的である。このことは、イタリア人の場合、[表 15] で確認したようにリピーターが多数を占めていることと関係がある

イタリアにおける外国人観光事情

う。散策、買い物の項においてはイタリア人の方が高い比率となっていることも、その裏付けとなるであろう。

表 19 自由時間の過ごし方 (%)

	イタリア人	外国人	合計
博物館、美術館訪問 (Visite a musei e gallerie)	17.61	20.78	20.17
文化遺産、教会などの訪問 (Visite a monumenti, chiese etc.)	23.02	35.64	33.23
散策 (Passeggiate)	37.25	27.65	29.48
買い物 (Shopping)	18.28	14.01	14.83
その他 (Altro)	3.84	1.92	2.29
合計 (Totale)	100.00	100.00	100.00

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Vacanze Romane 2009*, p.10

3. 外国人によるローマ観光と起点地域

3.1 ローマ観光客の国籍

ローマ市における観光客の宿泊について、すでの [表 6] において、外国人比率が 77.90% に上ることを指摘した。ここで、空間的範囲を広げローマ県について、宿泊者の内訳を考察したのが [表 20] である。ローマ県においては、イタリア人比率が 42.13%、外国人比率が 57.87% となり、空間を広げることによって外国人比率が下がる。つまり、外国人にとって「ローマ観光」=「ローマ市観光」であるのだ。また、ローマ県については、イタリア人の平均宿泊期間は 1.95 泊であるのに対して、外国人は 2.60 泊であり、後者の方が滞在期間は長い。

表 20 ローマ県における宿泊者の内訳 (2009 年度)

	宿泊者数	宿泊件数
合計	9,362,741 人	21,803,012 件
イタリア人	3,944,266	7,693,302
外国人	5,418,475	14,109,810

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.14

ローマ県内に宿泊する外国人のなかで、圧倒的多数がヨーロッパを起点としている。ヨーロッパを起点とする旅行者のおよそ 1/2 の規模が北米起点者、北米起点者の 1/2 の規模が北東アジアを起点とする旅行者である。

表21 ローマ県における宿泊者の起点地域（2009年度）

起点となる世界の地域	宿泊者数	宿泊件数
ヨーロッパ全体 (Totale Europa)	2,771,714	7,822,269
北米全体 (Totale Nord America)	1,358,643	3,398,129
中南米全体 (Totale Centro-Sud America)	256,657	637,844
北東アジア全体 (Totale Sud-Est Asia)	681,845	1,425,987
中東全体 (Totale Medio Oriente)	102,532	253,801

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.14

国籍別にこれらの観光客をみると、アメリカ合衆国からの旅行者が年間121万人余りで、他を圧倒している。イギリス(48万人余り)、ドイツ(40万人余り)、スペイン(39万人余り)、日本(36万人余り)、フランス(30万人余り)がそれに次いで多数を占める。一人当たりの宿泊期間においては、ロシア、ドイツからの観光客がより滞在型であり、中国人旅行者が通過型であることが分かる。

表22 ローマ県宿泊者の国別順位（2009年度）

国籍	宿泊者数	宿泊件数	一人当たり平均宿泊数
アメリカ	1,213,762人	3,048,905件	2.51泊
イギリス	483,411	1,368,417	2.83
ドイツ	406,323	1,261,178	3.10
スペイン	392,604	1,108,418	2.82
日本	363,443	821,370	2.26
フランス	308,869	868,458	2.81
ロシア	155,415	453,805	3.50
カナダ	144,881	349,224	2.41
中国	119,075	200,552	1.68
オーストラリア	96,467	226,886	2.35
オランダ	95,671	264,428	2.76
ブラジル	81,651	211,517	2.59

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.14

ここで上位を占めている国について、イタリア全体における宿泊者数([表5]参照)と比較することによって、各国旅行者のローマ志向の程度が分かるであろう。アメリカ、日本、カナダ、ロシア、中国、オーストラリアなど遠隔地域の国からのイタリア旅行者にあっては、イタリア観光におけるローマ観光の重要性を見てとることができる。これに対して、ドイツ、オランダを起点とするイタリア観光客においては、ローマの比重が著しく低位にある。彼らにとって la Chittà eterna の魅力は大きくない。

イタリアにおける外国人観光事情

表 23 イタリア観光に占めるローマ県比率

	ローマ県宿泊者／イタリア宿泊者 (%)
アメリカ合衆国	30.89
日本	27.99
カナダ	24.60
スペイン	22.29
イギリス	18.00
ロシア	17.37
中国	16.36
オーストラリア	15.71
フランス	9.26
オランダ	5.20
ドイツ	4.48

(典拠) [表5] および [表22] を基に算出

ローマ市における外国人宿泊者の順位を [表 24] に示した。ローマ県では7位に挙がっていた中国人はこのリストには登場しない。その理由の一つは、中国人が宿泊料金の高いローマ市内のホテルを敬遠しているためであるかもしれない。その他の国の順位はローマ県におけるものとはほぼ同じである。

表 24 ローマ市宿泊者の国別順位 (2009 年度)

国 籍	宿泊者数	宿泊件数	一人当たり 平均宿泊数
アメリカ	1,099,886	2,882,599	2.62
イギリス	446,018	1,287,310	2.89
スペイン	371,296	1,062,591	2.86
ドイツ	358,720	1,143,180	3.19
日本	334,439	777,370	2.32
フランス	261,061	770,556	2.95
ロシア	142,109	442,086	3.11
カナダ	123,625	317,243	2.57
オーストラリア	88,814	216,993	2.44
オランダ	80,164	233,690	2.92
スイス	77,353	220,258	2.85
ブラジル	77,191	204,435	2.64

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.16

イタリア観光に占めるローマ市観光比率においても、高い比率を示しているのはアメリカ、カナダ、日本など遠隔地域の国とスペイン、イギリスなどであり、ドイツ、オランダの比率は低い。

表25 イタリア観光に占めるローマ市観光比率

	ローマ市宿泊者／イタリア宿泊者 (%)
アメリカ合衆国	27.99
日本	25.76
スペイン	21.08
カナダ	20.99
イギリス	16.61
ロシア	15.88
オーストラリア	14.46
フランス	7.83
スイス	4.50
オランダ	4.36
ドイツ	3.94

(典拠) [表5] および [表24] を基に算出

3.2 外国人による宿泊ホテルの等級

3.2.1 ホテルの等級と宿泊客

ローマ市内のホテルに宿泊するものについて、ホテルの格付けごとに国籍 (Distribuzione degli arrivi negli esercizi alberghieri per nazionalità) を検討する。これは、供給者の側から見た分析である。([表26-1] ~ [表26-5] 参照。いずれも2009年度の値。)

これらの表を概観すると、イタリア人の比率はホテルの等級が下がるに従って、増加することが分かる。外国人のなかでは、5つ星～3つ星まではアメリカ人比率が最も高い。1つ星と2つ星ではドイツ人比率が高い。4つ星ホテルではアメリカ人に次いで高い比率であるのは日本人である。

表26-1 ローマ市内の5つ星 (5 stelle) ホテル宿泊者の内訳 (%)

イタリア人	25.13
外国人	74.87
アメリカ	30.21
イギリス	11.54
フランス	6.37
ドイツ	5.10
ロシア	4.38
スペイン	4.08
日本	3.02
カナダ	2.56
ギリシャ	1.63
オランダ	1.43
スイス	1.41

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.24

イタリアにおける外国人観光事情

表 26 - 2 ローマ市内の4つ星（4 stelle）ホテル宿泊者の内訳（%）

イタリア人	32.95
外国人	67.05
アメリカ	25.12
日本	11.24
スペイン	8.40
イギリス	7.88
ドイツ	6.25
フランス	3.64
ロシア	2.84
カナダ	2.64
中国	1.90
ギリシャ	1.65

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.24

表 26 - 3 ローマ市内の3つ星（3 stelle）ホテル宿泊者の内訳（%）

イタリア人	40.30
外国人	59.70
アメリカ	20.48
イギリス	11.11
ドイツ	8.21
スペイン	7.96
フランス	7.30
日本	3.24
ロシア	3.18
オーストリア	2.60
オランダ	2.12
スイス	1.29

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.24

表 26 - 4 ローマ市内の2つ星（2 stelle）ホテル宿泊者の内訳（%）

イタリア人	58.83
外国人	41.17
ドイツ	14.63
アメリカ	11.76
イギリス	8.33
スペイン	7.17
フランス	7.13
デンマーク	4.78
オーストリア	3.25
ベルギー	2.90
オランダ	2.68
スイス	2.52

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.24

表 26 - 5 ローマ市内の1つ星 (1 stella) ホテルの宿泊者の内訳 (%)

イタリア人	53.19
外国人	46.81
ドイツ	12.63
アメリカ	12.54
フランス	10.03
イギリス	7.97
スペイン	7.76
オランダ	4.16
オーストラリア	2.89
デンマーク	2.70
ブラジル	1.71
ノルウェー	1.42

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti alberghi 2009*, p.24

3. 2. 2 旅行者国籍別宿泊ホテル

ここまで、ホテルの格付けごとに宿泊者の国籍を確認した。次に国籍を基準として、ローマ市内のいかなる等級のホテルに宿泊しているかを考察する。これは、需要者の側からみた分析となる。

3つ星ホテルの利用率はイタリア人と外国人では差が見られない。イタリア人と外国人の宿泊者の違いは、2つ星ホテルにイタリア人の16%以上が宿泊していること、4つ星ホテルに外国人の半数近くが宿泊していることに如実に表れている。

表 27 ローマ市内ホテルの宿泊者内訳 (2009年度) %

	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
合計	7.91	45.63	33.41	10.54	2.51
イタリア人	5.23	39.54	33.41	16.31	3.51
外国人	9.36	49.36	32.19	7.00	1.89

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti alberghi 2009*, p.26

外国人旅行者を国籍別に [表 28 - 1] ~ [表 28 - 6] において検討する。

ヨーロッパ人旅行者については、その8割が4つ星ホテルと3つ星ホテルを利用している。5つ星ホテル利用者が1割を超えているのは、フランス人、イギリス人、ベルギー人、ルクセンブルク人、ギリシャ人、アイスランド人、スイス人、ロシア人、クロアチア人、トルコ人である。この中で、アイスランド人、ギリシャ人、ロシア人は1つ星ホテル利用者が皆無であるか、ほとんどいない。

前項の分析でドイツ人が1つ星ホテル、2つ星ホテル利用者が多数である結果が出ていたが、

イタリアにおける外国人観光事情

同国人のなかの分析では必ずしも、そうとは言えない。ドイツ人旅行者の母数が大きいために、そのような印象を与えているのであろう。〔表 28 - 1〕 参照)

北米人、特にアメリカ人はそのほとんどが5つ星、4つ星、3つ星ホテルを利用している。全体として高級ホテル志向と言ってよかろう。〔表 28 - 2〕 参照)

中南米人は4つ星、3つ星ホテル利用者が多数を占め、外国人全体の趨勢を反映した結果となった。〔表 28 - 3〕 参照)

日本、中国、大韓民国など北東アジア人は4つ星ホテル宿泊者が圧倒的に多数を占め、およそ3/4に達している。一方、1つ星ホテル利用者は少ない。〔表 28 - 4〕 参照)

中東についてはエジプト人および「その他の中東人」において5つ星ホテル利用者比率が並はずれて高い。〔表 24 - 5〕 参照)

なお、オーストラリアからの旅行者が宿泊するホテルの格付け傾向は、ヨーロッパ人のそれとほぼ同じである。〔表 24 - 6〕 参照)

表 28 - 1 ヨーロッパ人と宿泊ホテル格付け別構成比 (%)

国 籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
フランス	11.17	33.00	43.17	9.17	3.49
ドイツ	6.51	41.27	35.33	13.69	3.20
イギリス	11.85	41.82	38.44	6.27	1.62
ベルギー	10.44	33.55	38.73	16.16	1.12
ルクセンブルグ	10.25	48.21	37.12	0.32	4.10
オランダ	8.18	34.97	40.89	11.24	4.72
オーストリア	6.30	29.29	40.45	22.27	1.69
デンマーク	7.00	20.59	41.61	26.71	4.09
アイルランド	7.05	50.45	33.08	7.33	2.09
スペイン	5.04	53.49	33.09	6.49	1.89
ポルトガル	6.89	56.92	30.52	5.22	0.45
ギリシャ	11.96	62.89	21.62	2.83	0.70
スウェーデン	8.54	37.88	41.08	10.94	1.56
フィンランド	5.87	39.63	38.81	12.95	2.74
アイスランド	18.31	46.42	35.07	0.00	0.00
スイス	12.47	36.06	38.44	10.64	2.39
ポーランド	7.09	35.84	35.96	17.04	4.07
ロシア	14.12	47.30	34.50	3.30	0.78
ノルウェー	6.60	31.48	48.17	11.67	2.08
クロアチア	10.62	36.62	32.81	18.78	1.17
チェコ	6.13	46.40	32.23	13.90	1.34
スロバキア	6.86	35.00	34.56	14.25	9.33
スロベニア	5.49	39.41	47.60	5.02	2.48
トルコ	11.12	55.01	26.66	6.13	1.08
ハンガリー	5.95	37.68	36.91	13.70	3.67
その他のヨーロッパ	5.24	41.36	38.43	9.62	5.35

ヨーロッパ計	8.66	42.16	37.13	9.55	2.55
--------	------	-------	-------	------	------

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

表 28 - 2 北米人と宿泊ホテル格付け別構成比 (%)

国籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
アメリカ合衆国	12.58	54.04	28.75	3.59	1.04
カナダ	9.50	50.64	32.48	5.76	1.62
北米計	12.27	53.70	29.13	3.81	1.09

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

表 28 - 3 中南米人と宿泊ホテル格付け別構成比 (%)

国籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
メキシコ	8.97	50.70	30.82	8.31	1.20
アルゼンチン	4.84	48.01	34.16	11.01	1.98
ブラジル	7.72	42.51	38.92	8.83	2.02
ベネゼーラ	8.95	50.28	31.68	8.25	0.84
その他	6.49	38.98	39.88	11.12	3.33
中南米計	7.21	44.89	36.17	9.62	2.11

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

表 28 - 4 アジア人と宿泊ホテル格付け別構成比 (%)

国籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
日本	4.14	79.53	14.97	1.14	0.22
中国	7.07	66.80	18.32	6.77	1.04
大韓民国	1.71	71.31	24.74	2.11	0.13
東南アジア	7.63	65.65	19.59	3.36	1.77
アジア計	4.94	74.60	17.14	2.71	0.61

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

表 28 - 5 中東人と宿泊ホテル格付け別構成比 (%)

国籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
イスラエル	8.44	46.50	40.86	3.19	1.01
エジプト	17.03	53.94	23.55	4.65	0.83
その他中東	34.57	45.75	14.53	3.92	1.23
中東計	23.91	46.71	24.55	3.73	1.10

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

表 28 - 6 その他の旅行者の宿泊ホテル格付け構成比 (%)

国 籍	5つ星ホテル	4つ星ホテル	3つ星ホテル	2つ星ホテル	1つ星ホテル
地中海アフリカ諸国	17.47	28.87	34.56	13.24	5.86
南アフリカ	11.17	39.63	34.75	13.65	0.80
その他アフリカ	15.19	33.96	32.21	11.89	6.75
オーストラリア	6.72	40.04	45.16	5.12	2.96
ニュージーランド	3.89	39.80	44.91	6.31	5.09
その他非ヨーロッパ	20.58	63.57	11.14	2.91	1.80

(典拠) EBTL (Ente Bilaterale Turismo del Lazio), *Rapporto annuale turisti albergi 2009*, p.26

小括

イタリアを訪れる外国人観光客は、総じて北イタリアの歴史芸術都市をめざす。イタリア観光におけるドイツ人比率の高さは秀でていますが、ローマ市のそれは4%に満たない。

ローマ観光においては、旅行者の8割近くが外国人であり、国際観光都市としてはパリを上回る人気を集めている。ローマ市に宿泊する外国人のなかでは、アメリカ人がずば抜けて多数を占め、以下、イギリス人、スペイン人、ドイツ人、日本人の順となっている。アメリカ、日本、スペイン、カナダを起点とするイタリア観光客にとって、ローマの重要性は大である。これに対して、ドイツ、フランス、オランダ人観光客にとっては、ローマ観光の意味は大きくない。

注

- (1) European Tourism Commission, *ETC Study on Japanese Outbound Tourism 2000*
- (2) World Economic Forum, *The Travel & Tourism Competitiveness Report 2009, Geneva, 2009*, p. xv, xvii, 229, 297 et 298
- (3) la città eterna の語源は、ホール・ケイン (Thomas Henry Hall Caine) が1900年に発表した連載小説『永遠の都』(The Eternal City) に由来する。この小説自体がエリオ・ヴィットリーニ (Elio Vittorini) によってイタリア語に翻訳されたのは1946年のことであったが、映画化は1915年および1923年になされ、とくに1923年の映画化にあたってはイタリア版のリメイクがなされている。従って、イタリア語としての la città eterna の歴史は1920年代に遡ることができる。(Brownlow, Kevein, *Behind the Mask of Innocence*, New York, 1990)
- (4) 「イタリア政府観光局」(ENIT) の正式名称は、Ente Nazionale per il Turismo が使われていたが、2005年の法律改正に伴う組織の再編成によって、ENIT - Agenzai Nazionale del Turismo が使われるようになった。(Enit, chi siamo, in interrete sub: http://www.enit.it/index.php?option=com_content&view=category&layout=blog&id=1&Itemid=7&lang=it, 26.07.2011)

- (5) EBTL, <http://www.ebtl.it/ebtl-menu.html>, 26.07.2011 なお、文中で単にローマと記す場合はローマ市を指す。
- (6) UNWTO の活動については、WTO, About us, in interrete sub: <http://unwto.org/en/about/unwto>, 28.07.2011 を参照。
- (7) ENIT, Il turismo internazionale in italia, in interrete sub: <http://www.enit.it/index.php/it/studi-ricerche.html>, 22.06.2011 より算出。なお、外国からの観光客の統計において、ドイツの統計は国籍にかかわらずに起点国 (Herkunftsland)、居住地 (Wohnsitz) を基準とし、フランスの統計では国籍 (nationalité) を基準として分類されていた。(拙稿「都市観光の定量比較」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第11号 (2011年)、76ページ) これに対して、イタリアの統計では起点国と国籍の区別なく記載されている。本稿においても、起点国と国籍を無差別に扱っている。
- (8) パリにおける外国人観光客比率 (2009年度) は、54.8%であった。(拙稿「都市観光の定量比較」跡見学園女子大学『マネジメント学部紀要』第11号 (2011年) 70～71ページ)
- (9) Last minute はロンドンに本社を置くオンライン旅行小売業であり、1週間に165万のアクセスがある。(Last minute.com, about us, in interrete sub: http://www.lastminute.com/site/help/about_us/about-us.html, 09.07.2011) イタリア語によるサイト (Last minute italiano) も開設されている。(Last minute italiano, chi siamo, in interrete sub: http://www.it.lastminute.com/site/aiuto/chi_siamo.html, 09.07.2011)
- (10) ツアー・オペレーター (tour operator) は旅行の企画・手配・販売を行うホールセラーを指すことから総合旅行業者の訳語を充てた。
- (11) 拙稿「ウィーン観光事情」跡見学園女子大学『観光マネジメント学科紀要』1号 (2011年)、6ページ